

2025年5月14日

各位

会社名 株式会社CAPITA
代表者名 代表取締役 菊池正俊
(東京証券取引所スタンダード市場
コード: 7462)
問合せ先 取締役管理部部長 新島 裕一
電話 03-6277-5015

特別損失の計上、法人税等調整額(益)の計上、
及び通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年3月期(2024年4月1日から2025年3月31日)決算において、店舗閉鎖に伴う費用と減損損失を特別損失として計上、また、法人税等調整額(益)を計上いたしましたのでお知らせいたします。併せて、2025年2月13日に開示した2025年3月期の通期予想と実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本店移転及び店舗閉鎖に伴う特別損失の計上について

当社は、店舗展開する専門店事業において収益性の低い店舗を閉鎖した為、原状回復工事等の「店舗閉鎖損失」22百万円及び減損対象店舗の固定資産の減損損失14百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 法人税等調整額(益)の計上及びその内容

2025年3月期及び今後の業績見通し等を踏まえて繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収が見込まれる部分については繰延税金資産を計上することとしました。これにより、2025年3月期において、法人税等調整額(△は利益)を△20百万円計上いたしました。

3. 2025年3月期通期業績予想との差異

(2024年4月1日～2025年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,500	88	81	42	11.65
実績値(B)	3,369	79	69	30	8.35
増減額(B-A)	△131	△8	△11	△11	
増減率(%)	△3.7	△9.8	△14.0	△28.3	
前期実績(2024年3月期)	3,044	52	40	22	6.30

当社の主力事業である石油事業において、ガソリン補助金の縮小による価格上昇による需要の停滞により販売数量が伸び悩み、また、専門店事業においては、2025年1月から3月に4店舗を閉鎖したことにより売上が減少しました。不動産販売事業を含む不動産事業全体で営業利益は前期より上回りましたが、業績予想値には届きませんでした。これらを要因に経常利益は69百万円となり、特別損失に店舗閉鎖損失及び減損損失を計上したことなどから、法人税等調整額(益)を計上しましたが、業績予想値を下回り、当期純利益は30百万円となりました。

以上